

2022 年度

一般財団法人くまもと SDGs 推進財団

定時評議員会議案書

日時：2022 年 6 月 18 日（土）15 時～

会場：熊本県商工会館 2 階会議室

一般財団法人くまもと SDGs 推進財団

# 定時評議員会次第

- 0 定足数確認（定款第25条）
- 1 開 会
- 2 代表理事挨拶
- 3 議長選出（定款第24条）
- 4 議事録署名人の選出（＝議長：定款第29条）
- 5 議 事

第1号議案	2021年度事業報告について
第2号議案	2021年度収支報告について
第3号議案	2021年度監査報告について
第4号議案	2022年度事業計画について
第5号議案	2022年度収支予算について
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

## 定足数確認（定款第25条）

【評議員】出席確認欄（議長選出後議長欄に○、議長が議事録署名人となる）

役職名	議長	氏 名	出・欠
評議員		井上 智	<input checked="" type="checkbox"/> ・欠
評議員		内田 安弘	<input checked="" type="checkbox"/> ・欠
評議員		加島 裕士	<input checked="" type="checkbox"/> ・欠
評議員		神田みゆき	出・ <input checked="" type="checkbox"/> 欠
評議員		沢畑 亨	出・ <input checked="" type="checkbox"/> 欠
評議員		平野みどり	出・ <input checked="" type="checkbox"/> 欠
評議員		鳥崎 一郎	<input checked="" type="checkbox"/> ・欠
評議員		宮瀬美津子	<input checked="" type="checkbox"/> ・欠
評議員会成立確認		8名中	5名

【役員・顧問】出席確認欄

役職名	氏 名	出・欠
理 事	明石 祥子	出・欠
理 事	倉田 哲也	出・欠
理事（執行役員）	徳永 伸介	<input checked="" type="checkbox"/> ・欠
代表理事	成尾 雅貴	<input checked="" type="checkbox"/> ・欠
理事（執行役員）	西原 明優	<input checked="" type="checkbox"/> ・欠
理事（執行役員）	原 育美	<input checked="" type="checkbox"/> ・欠
理事（執行役員）	藤田可奈子	<input checked="" type="checkbox"/> ・欠
理事（執行役員）	山口 久臣	<input checked="" type="checkbox"/> ・欠
監 事	福井雄一郎	<input checked="" type="checkbox"/> ・欠
監 事	矢田 智之	出・欠
顧 問	大住 和子	出・欠
顧 問	歌岡 宏信	出・欠
顧 問	田上 辰也	出・欠
顧 問	宮北 隆志	出・欠
顧 問	山田健一郎	出・欠

## 第1号議案 2021年度事業報告について

### ◆ 活動の総括

21年度は、幸いにして県内では大きな災害に見舞われることなく、財団では当初目指していた休眠預金の配分団体になるための活動をスタートさせることができた。

佐賀未来創造基金に指導助言を仰ぎ、同基金他九州各県のコミュニティ財団等とコンソーシアムを組み、22年度に休眠預金の配分団体としての事業を行うべく作業を進めているところである。

これに伴い、定款をはじめとする規程類の大幅な見直し(変更や新たに必要となる規程類の整備)が必要となったことから、次回、その内容について説明し、承認を得たいと考えている。

次に、コロナ禍に伴う「くまもと命を守る基金」に関連して、21年度、全国コミュニティ財団協会が連携して立ち上げた「47コロナ基金」では、医療機関配分枠として熊本県にも配分があり、窓口団体である公益財団法人地域創造基金さなぶりと連携し、事業を実施した。

また、「47コロナ基金」では、当財団独自枠「新型コロナウイルス禍 くまもと命を守る基金 社会的弱者自立支援」にも寄附を頂いており、別途財団が直接受けた寄付と併せ、助成事業を実施した。

次に、「フェアトレードシティ熊本10周年記念事業」実施に向けては、当財団としてクラウドファンディングを立ち上げ、支援するべく関係者と協議を進めてきたが、諸事情により実施できなかった。

次に、「発達障がいを持つ方々のための地域の居場所づくり事業」改め「発達障害からはじまる「みんな」のくまさと事業」～多様な人が住み続けられる持続可能なまちづくりに向けた生活困窮者支援・居場所事業～については、当財団とは別の休眠預金配分団体への申請手続きが進められることとなった。

この他、昨年度から取り組んでいた財団のホームページを21年7月に開設し、賛同金提供者へのお知らせも行った。これに併せ、20年度に実施した熊本災害基金(県南豪雨災害)助成団体の「事業報告」をはじめとする財団事業の報告等も随時行うなど、情報公開に向けた取組みも進めている。

しかしながら、21年度は「47コロナ基金」及びこれに付帯した以外に事業はなく、財団の予算は依然大変厳しいものがあつた。

なお、3月31日付で林理事から退任届が提出されたことを付記しておく。

## ◆ 緊急支援事業

### 1. 「熊本災害基金」事業

事業実施責任者：正・徳永伸介 副：林 信吾

幸いにも21年は、県内で大きな災害が起きることがなかったが、20年度予算の執行残を活用し、寄付者への事業報告として、当財団のHPに「事業報告」のサイトを作成し、先にFBにアップしたフォトグラファー（高木あゆみ氏）の取材内容をリメイクしてアップした（66千円）。

### 2. 「47コロナ基金」（医療機関等支援分）事業

事業実施責任者：成尾雅貴 事業実施担当者：夏月企画（業務委託）

#### （1）経緯

20年度、当財団も加盟する全国コミュニティ財団協会が連携して立ち上げた「47コロナ基金」（事務局さなぶり）には、医療機関等支援分として、匿名（一部上場企業）で多額の寄付が寄せられた。この中から熊本県配分枠として500万円の助成が確保されたとの連絡を窓口団体である公益財団法人地域創造基金さなぶり（以下「さなぶり」）から受け、当財団として熊本地域配分団体の名乗りを上げた。

（全国47都道府県のうち、各地の支援組織を経由した助成を実施したのは19自治体）

#### （2）具体的な活動及び成果

当事業実施に際しては、昨年度県南豪雨災害助成に際して業務を委託した夏月企画を当事業の実施担当者として業務を委託。さなぶりから示された要項等及び寄付者の意向を踏まえ事業を実施した。

まず、コロナ病床を確保している医療機関が前提であったことから、熊本県健康福祉部と熊本市医師会を通じて情報を提供してもらった。

また、無料低額診療実施事業者も対象としたいとの執行役員会での意見を踏まえ、当該事業実施医療機関の情報を入手。

更には、寄付者の意向（1医療機関あたり100万円前後の寄付とし、小口に分けることは避けてほしい）を踏まえ、

- ・コロナ病床30床以上を確保している4医療機関
- ・無料低額診療実施事業者でコロナ病床を確保している2医療機関

合計6医療機関に当事業内容を示し、助成金受領の意向を確認。5医療機関から受領の意志を確認し、助成金申請手続き等に入った。

他方で、「対象事業に関して優れた見識と専門性を有し、公正かつ中立な立場を堅持できる者」を審査委員として臨時理事会にて選任。3者による審査会を経て合計金額450万円の助成を実施した。

上記医療機関と審査委員については次のとおり。なお、要項では「組織名、金額については、ウェブ上等に一般に広く公開することは致しません。」としていることから、財団ホームページ掲載時には、これらは掲載しないこととする。

【審査会】10月12日 17:30～ 財団事務所にて開催

審査委員名	役職等
岡崎光治	熊本県歯科医師会事務局長、前熊本県健康福祉部健康局長
菊住幸枝	前社会福祉協議会熊本県ひとり親家庭福祉協議会事務局長
柳田紀代子	尚綱大学教授、前熊本県健康福祉部子ども・障がい福祉局長

【助成医療機関名及び助成額】

5つの医療機関に対して各々90万円合計450万円を助成

3. 新型コロナウイルス禍対策くまもと命を守る基金「社会的弱者自立支援」事業  
事業実施責任者：成尾雅貴 事業実施担当者：夏月企画(業務委託)

(1) 経緯

当事業では、20年度に「ひとり親家庭支援事業」を実施した。21年度は全国コミュニティ財団協会が連携して立ち上げた「47コロナ基金」において、当財団独自枠「くまもと命を守る基金 社会的弱者自立支援」には、107,400円の寄付が寄せられた。

この対象者は、ひとり親家庭に加え、障がい者と高齢者になっている。

「47コロナ基金」取り残されるひとり親家庭、障がい者、高齢者

熊本県内では自粛解除を受け、ようやく経済活動の再開に向けて歩み始めましたが、これまでの自粛により、職を失う方も少なくなく、特にひとり親世帯への影響は計り知れないものがあります。社会に生じたひずみが一番最初に顕著に現れるのは社会的弱者への経済的影響です。

私たちが4月に行った「新型コロナウイルス感染症対策に係るNPO等支援の緊急アンケート」の回答からも、ストレスからの幼児虐待、かさむ生活費、預け先がなく深まる孤立等々の声が聞こえます。

このような中、当財団は社会福祉法人熊本県ひとり親家庭福祉協議会等と連携し、ひとり親世帯はじめ社会的弱者への支援を行ってきました。

本事業ではコロナ禍により一度崩れてしまった社会的弱者の生活基盤をまずは元の状態に戻しつつ、自立して社会の中で生きていけるよう、その支援を行うものです。

支援先の例

- ・市民団体、行政、企業等と連携した社会的弱者それぞれの”自立”に向かうステップの体系化、連携体制構築
- ・社会的弱者支援を行う団体、法人に対する助成

また、これとは別に、株式会社タイムレスからは、鶴屋で開催した事業の売上から 331,225 円が同事業に寄付された。

これらを財源とし、当事業を実施（予算総額約 500 千円）することとした。

## (2) 具体的な活動

当事業実施に際しては、20 年度県南豪雨災害助成に際して業務を委託した夏月企画を当事業の実施担当者として業務を委託。

また、同様に、寄付者への事業報告として、はちどり photo の高木あゆみ氏に取材を委託し、当財団の F B 及び H P で「事業報告」を行った（33 千円）。

22 年 1 月に公募（助成総額 370 千円）

### 【審査会】2月8日 17:30～ 財団事務所にて開催

審査委員名	役職等
岡崎光治	熊本県歯科医師会事務局長、前熊本県健康福祉部健康局長
菊住幸枝	前社会福祉協議会熊本県ひとり親家庭福祉協議会事務局長
柳田紀代子	尚綱大学教授、前熊本県健康福祉部子ども・障がい福祉局長

### 【助成団体名及び助成額】

	助成団体名	代表者名	助成額
1	社会福祉法人熊本県ひとり親家庭福祉協議会	藤井宥貴子会長	150 千円
2	特定非営利活動法人凸凹ライフデザイン	相良真央理事長	220 千円

## (3) 成果

1. 社会福祉法人熊本県ひとり親家庭福祉協議会（藤井宥貴子会長）  
全額を生理用品の購入に充て、会員に配布
2. 特定非営利活動法人凸凹ライフデザイン（相良真央理事長）：  
ピアゲートキーパー養成講座を開催（3月13日、5月7日※）  
※当団体からは、事業期間の延長申請があっている。

## ◆ 熊本県委託事業

1. 令和3年度（2021年度）熊本県地域課題解決プロデューサー人材活用事業  
事業実施責任者：成尾雅貴 事業実施担当者：一般社団法人ゆずり葉

21年度事業として、先般（6月2日）県から募集要項が示された（予算額：27,429千円）。これに基づき、本年度も一般社団法人ゆずり葉及び株式会社あえると協働してエントリーし、プレゼンテーションに臨んだが受託できなかった。

## ◆ SDGs 推進事業

### 1. SDGs 普及啓発事業

事業実施責任者： 西原明優

当財団主催の普及啓発事業は未実施。

各方面から依頼があった講演やセミナーについては、一覧を議案1の最後に記載。

### 2. 「発達障害からはじまる「みんな」のくまさと事業」～多様な人が住み続けられる持続可能なまちづくりに向けた生活困窮者支援・居場所事業～

事業実施責任者： 藤田可奈子

#### (1) 経緯

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）が、休眠預金等活用法に基づく資金分配団体の公募（通常枠）を開始していることから、当財団として「発達障がいを持つ方々のための地域の居場所づくり事業」の申請を予定していた。

本件については、20年4月3日、JANPIA事務局からヒアリング（zoom面談）を受け（代表事務所にて：成尾、林）ており、採択に向け書類を整えたいと考えていたが、7月の豪雨災害を受け、同支援事業を立ち上げたことから、当事業については事務処理を進めることができず、申請については見送った。

まずは、休眠預金の配分団体としてエントリーできる体制を整え、並行して、当財団として当該事業について伴走支援していきたい。

#### (2) 具体的な活動及び成果

このため、藤田副代表理事は、「発達障害と居場所を考えるカフェ」事業を同氏が代表を務めるリルビット主催で開始することとした。

これについては、その資金の一部とすべく、熊本善意銀行を紹介し、7万円の助成金を獲得することができた。全5回を予定しているカフェは、様々な団体・専門職と協力しながら、居場所について交流・検討の場を提供し、年度末に事業完了報告書を以って事業完了した。

なお、活動及び成果について具体的には、リルビットのFBを参照されたい。



<https://www.facebook.com/littlebitkumamoto>

また、21年9～10月に休眠預金事業を行う(株)サンコーライフサポートが運営する居場所の視察等を行い、味噌天神のビルの一室を居場所としてシェアリングしないかというご提案があり、現在検討中である。リルビットでは、「発達障害と居場所を考えるカフェ」他、「ほったらかしカフェ」や「ただいだけカフェ」等、居場所活動を幅広く展開しており、今後の常設の居場所づくりにつなげていきたいと考える。

なお、更にリルビットは、熊本県新型コロナウイルス対応緊急支援協議会(YMCA・おもやい)が配分団体となった休眠預金事業「支え合う多様なコミュニティづくり支援事業」に応募したことで、休眠預金の資金分配団体の審査前後の動きが把握できたため、今後のKSPFの資金分配団体としての動きに参考となる部分を共有していきたいと考える。

居場所事業の今後の展開は不確定な要素が多いが、発達障害から出発する多様な人が活躍できる社会づくりというテーマはSDGsの観点からも重要であるので、当財団としても、リルビットの事業実施に向けて引き続き伴走支援に努めていきたい。

### 3. 「フェアトレードシティくまもと10周年記念事業」(主催:同実行委員会)

事業実施責任者:明石祥子 事業実施担当者 鳥崎一郎

今年、熊本市がフェアトレードシティ10周年の記念すべき年であり、明石理事が、同事業の実行委員長をしている。既に事業概要等は固まりつつあるが、資金調達面について、当財団としても支援ができるよう関係者と協議を進めていく。

本件については、評議員の鳥崎氏を事業実施担当者として、当財団のHPにて資金調達の手段としてクラウドファンディングを立ち上げるべく準備を進めていたが、HP掲載直前になって、同事業実行委員会で別のクラウドファンディング(グローバル・クラウドファンディング:返礼品あり)も立ち上げていることが判明。事業実施担当者も本件を把握しておらず、競合することは望ましくないとの判断で、現在作業停止中。

## ◆ 休眠預金活用事業

### 1. 休眠預金活用事業

事業実施責任者:徳永伸介、山口久臣 事業実施担当者:夏月企画(委託)

休眠預金の資金分配団体に名を連ね助成事業を行うことは、中間支援組織を名乗る当財団の最もふさわしい事業でもあり、管理的経費を15%まで見込むことができ、財団の財務基盤強化にも繋がるものと思われる。

これはSDGs推進事業2「発達障害からはじまるみんなのくまさと事業」でも申請を検討していたように、設立当初から【休眠預金事業活用】は検討を進めている。

20年度は緊急支援事業（熊本豪雨災害）に傾注したことから実現に至らなかったが、単独での実施には現在の当財団の組織体制をみて不安があることから、21年度は休眠預金採択経験のある佐賀未来創造基金を軸とした九州各県とのコンソーシアムでの公募を進めることとし、9月30日と10月27日に、佐賀市にて意見・情報交換を実施した。その後、12月28日公益財団法人佐賀未来創造基金と九州各県でのコンソーシアム体制での「九州災害支援休眠預金」の申請準備に着手することとなった。

JANPIAによる上記の休眠預金配分が22年度に募集開始となる見込みがあり、まず配分団体としての規程類の整備等、環境を整える必要があることが分かった。募集開始までを目標にして当財団の定款等諸規程の見直しを進めることとし、夏月企画に事業実施担当者として委託し、作業を進めることとした。

22年2月28日、佐賀との意見交換を実施、「利益相反、事務局体制」の整理が優先的に必要との助言を受け、21年度内に各理事から自身の籍を置く団体が実行団体にはなれない点に関して意志確認を取り、各自承諾を得る。

3月2日、今回コンソーシアムで公募するテーマが「災害」であることから、熊本県内の資金分配団体を担うにあたり、KVOADも含めた協議が必要ではないかとの意見が佐賀未来創造基金側からあり、佐賀未来創造基金の山田代表及び事務局担当の杉本氏とKVOADより樋口代表、当財団より山口理事が参加してのオンライン会談を実施する。

次年度（22年度）に当財団・KVOAD・佐賀未来創造基金との三者面談を計画するとなり、新年度に向けた日程調整を行い、継続的に事業を進めることとなる。

## ◆ 管理に関すること

### 1. 管理業務を株式会社あえるに委託（660千円）

21年度契約に基づき（当初契約期間は、22年3月末まで。更新条項あり）、委託。

### 2. 決算報告書等の作成委託（264千円）（株）あえるに委託

本件について、（株）あえるとの間の契約書では、「会計ソフト導入を前提として、別途協議のうえ委託料を決定した上で委託することとする」としているが、会計ソフトの導入には至っていない。ただ、事業数も多くないことから当面エクセルにて簡易な総勘定元帳を作成し収支計算書等を作成することは（株）あえるでも可能なことから、21年度は（株）あえると契約することとしたい。なお、近代経営研究所が受託する意向はないことを確認している。

また、(株)あえるの代表者が当財団の代表理事を務めているため、定款第37条第1項(2)に該当し、理事会承認事項となることをここに明記し、第2回通常理事会にて承認済。

### 3. 公益法人化に向けた手続きを近代経営研究所に委託(440千円)

公益法人化に向け、近代経営研究所に委託(660千円)し伴走支援をしてもらいながら行政の担当セクションと事前協議を重ね、関係書類の整備も進んでいる。今後は、財団の現状に鑑み、公益法人化を目指すのか否かを慎重に協議して決定したい。

21年度事務執行分については、業務完了報告書の提出を受け、支払い済(440千円)

### 4. ホームページの作成を株式会社DESINに作成委託(1,100千円) 運営委託(77千円)

ホームページを充実させ、財団の活動状況を広く公開するために、20年度委託し、21年7月に新しいホームページを公開した。

なお、財団への寄付提供者で住所が把握できている者64人には、葉書で新しいホームページ公開についてお知らせをした。

また、毎月の内容更新等WEB管理費委託として11千円/月契約済み

### 5. 関係団体との連携(入会・加盟等)

#### (1) 全国コミュニティ財団協会(準会員) 年会費30千円(2019年度～)

事業実施責任者: 徳永伸介

会員として、引き続き連携を図りながらコミュニティ財団としての活動を継続したい。休眠預金関連情報についても随時提供してもらっている。

#### (2) 一般社団法人全国レガシーギフト協会加盟(2020年度) 年会費100千円

事業実施責任者: 徳永伸介、山口久臣

「いぞう寄付の窓口」を運営している一般社団法人全国レガシーギフト協会に加盟するために手続きを進め、2020年5月29日に加盟審査を通過(現在加盟団体は14団体)、今後は加盟団体として、遺贈文化を普及と当財団への寄付獲得に向け周知に努めていきたい。

2021年度は、徳永、山口、成尾が下記に出席し知見を深めた。

9月16日 レガシーギフトウィーク(WEB)へオブザーバーとして出席

9月23日 遺贈寄付懇談会(WEB)出席

※ 佐賀県や長崎県の取組み等を学ぶ中、地域の弁護士、税理士、信託銀行その他関係者(行政書士や不動産会社)と連携を図り、遺贈寄付の周知と活用が必要との認識に至った。今後さらなる学びを深めていく。

**(3) コングラント株式会社のNPOの寄付募集・支援者管理ツール 年間 52.8 千円  
事業実施責任者：徳永伸介**

クレジット寄付等の運営。ライトプランを契約（2021.7～2022.6）。

20 年度の緊急支援事業で活用。継続契約としたい。

これとは別に、財団 HP とリンクし、クレジットカード引き落としによる寄付金受領ができるよう協議を進めているところ。

**(4) 「ふるさとくまもと応援寄附金（NPO等支援分）」への登録**

22 年 2 月 10 日付けで熊本県環境生活部男女参画・協働推進課から、21 年分の当財団宛て寄附金が 70,000 円あり、交付予定金額（寄付金額の 2 分の 1）35,000 円があるとの通知を受けた。20 年分として保留している交付予定額 70 千円と併せ、その使途について、議案 4 で提案したい。

なお、3 年間の登録期間があるものの、実績が伴わないと継続した登録も難しくなることから、県外の知人、親戚等に十分制度を周知して、当財団へのふるさと納税制度を活用した寄付を働きかけていきたい。

## 6. 会議等

**(1) 理事会・評議員会（会場：財団事務所）いずれも 2021 年**

- ・ 6 月 9 日 2021 年度第 1 回通常理事会
- ・ 6 月 26 日 2021 年度定時評議員会
- ・ 6 月 26 日 臨時理事会（役員改選後の新執行部選任）
- ・ 8 月 23 日 臨時理事会（役員改選後の新執行部選任）
- ・ 11 月 20 日 2021 年度第 2 回通常理事会

**(2) 監査（会場：財団事務所）**

- ・ 2021 年 6 月 4 日 2020 年度監査実施
- ・ 2022 年 5 月 27 日 2021 年度監査実施

**(3) 執行役員会（会場：財団事務所）**

- ・ 20 回開催。開催日時、出席状況等を次ページに掲載

**(4) その他 外部ネットワーク関連会議等（上記個別項目以外）**

- ・ 6 月 22 日 九州災害対策合同会議 WEB 佐賀未来創造基金主催

## (3) 執行役員会出席状況 (WEBの場合はW)

会場：財団事務所

時間：専ら 17:00-19:00

回数	開催日	成尾	西原	原	藤田	徳永	林	山口	福井	主な議題
1	4月7日	出	欠	出	出		出			理事の利益相反及び報酬の件
2	4月21日	出	出	出	出		出		出	外部団体からの講演や執筆に対する謝金の支払いについて (規程改正)
3	5月12日	出	出	出	出		出			新年度体制、フェアトレードシティ10周年事業
4	5月26日	出	W	出	出		出			定款及び規程の改正、新理事
5	6月23日	出	出	出	出		出			執行役員会運営規則改正、47 コロナ基金
6	7月7日	出	W	W	出	W	出	欠		47 コロナ基金、地域PD報告、居場所、球磨森
7	7月21日	出	出	W	出	W	出	出		HPリニューアル、休眠預金、47 コロナ
8	8月4日	出	出	出	出	W	出	出		47 コロナ
9	8月18日	出	出	W	出	出	出	欠		新役員体制、執行役員会運営規則改正、47 コロナ
10	9月8日	出	出	W	出	出	W	出		FT 応援ファンド設立、47 コロナ、球磨森基金設立事業
11	9月22日	出	出	W	出	出	欠	出		47 コロナ、FT 応援ファンド設立、金銭出納規程改正
12	10月13日	出	出	W	出	W	欠	出		47 コロナ助成先決定、FT 応援ファンド設立、金銭出納規程改正
13	10月27日	出	出	出	出	W	欠	出		助成金審査会規程、審査委員委嘱等に関する細則改定他
14	11月12日	出	出	出	欠	出	欠	出		第2回通常理事会議案、収支報告書等作成業務委託
15	12月8日	出	出	出	出	W	欠	出		新型コロナ禍くまもと命を守る基金関連 (あえるへの業務委託金額) 等
16	1月19日	出	W	W	出	W	欠	出		新型コロナ禍くまもと命を守る基金関連 タイムレス寄付の件
17	1月22日	出	出	出	出	欠	欠	出		新型コロナ禍くまもと命を守る基金関連、休眠預金関連
18	2月8日	出	出	出	出	出	欠	出		新型コロナ禍くまもと命を守る基金関連 (審査会後の助成先決定)
19	2月24日	出	出	欠	出	出	欠	出		新型コロナ禍くまもと命を守る基金関連 遺贈寄付関連
20	3月16日	出	出	欠	出	出	欠	出		新型コロナ禍くまもと命を守る基金関連、休眠預金、HP、決算、登記
	出席	20	16	11	19	7	9	13	1	延 96 回×2,200 円=211,200 円
	Zoom	0	3	7	0	7	1	0	0	延 18 回×1,100 円= 19,800 円
	欠	0	1	2	1	1	10	2		延 17 回 上記計 231,000 円

講演及びセミナー講師派遣一覧						一般財団法人くまもとSDGs推進財団				
月	日	曜日	時間帯	主催	表題	対象	人数	会場	講師	講演依頼
4	19	月	9:10-10:40	学校法人昭徳学園九州動物学院	SDGsの背景と現状について	学生	40	同学院	成尾雅貴	○
4	20	火	13:00-13:50	株式会社サンコーライフサポート	今何故、SDGsが必要か	社員	50	菊南温泉ユウベルホテル	成尾雅貴	
7	24	土		熊本県子ども会連合会	SDGsと子ども（会）について	中高生引率者	30	熊本テルサ	神田みゆき	○
8	4	水	14:30-16:00	熊本県中小企業団体事務局長会	SDGsで活力のある未来と持続可能な社会づくりに向けて	事務局長	50	熊本ホテルキャッスル	成尾雅貴	
10	23	土	14:30-15:20	一般社団法人くまもと環境革新支援センター	再生可能エネルギーセミナー	市民	30	くまもと県民交流館パレ	成尾雅貴	
12	3	金	16:00-17:00	熊本県子ども会連合会	SDGsと子ども（会）について	理事	40	熊本テルサ	成尾雅貴	○
※財団に直接講演依頼があったものについて「○」で表記。それ以外は、講演時に財団名及び職名を標記したもの。										



## 貸借対照表

令和04年3月31日現在			
一般財団法人 くまもとSDGs推進財団		(単位：円)	
科 目	当年度	前年度(期末)	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
(1) 現金預金	2,524,248	3,941,267	△ 1,417,019
① 現金	3,394	9,130	△ 5,736
② 普通預金	2,520,854	3,932,137	△ 1,411,283
(2) 未収金	0	9,586,296	△ 9,586,296
(3) 貯蔵品	299,296	353,440	△ 54,144
流動資産合計	2,823,544	13,881,003	△ 11,057,459
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
賛同金(指定)	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) その他固定資産			
① 保証金	0	950,950	△ 950,950
② パソコン	148,500	148,500	0
③ パソコン減価償却累計額	△ 40,218	△ 3,093	△ 37,125
その他固定資産合計	108,282	1,096,357	△ 988,075
固定資産合計	3,108,282	4,096,357	△ 988,075
<b>資産合計</b>	<b>5,931,826</b>	<b>17,977,360</b>	<b>△ 12,045,534</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
(1) 短期借入金	51,791	51,791	0
(2) 未払金	693,469	9,576,944	△ 8,883,475
流動負債合計	745,260	9,628,735	△ 8,883,475
<b>負債合計</b>	<b>745,260</b>	<b>9,628,735</b>	<b>△ 8,883,475</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,186,566	8,046,526	△ 2,859,960
指定正味財産合計	5,186,566	8,046,526	△ 2,859,960
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産	0	302,099	△ 302,099
一般正味財産合計	0	302,099	△ 302,099
<b>正味財産合計</b>	<b>5,186,566</b>	<b>8,348,625</b>	<b>△ 3,162,059</b>
<b>負債及び正味財産合計 (II+III)</b>	<b>5,931,826</b>	<b>17,977,360</b>	<b>△ 12,045,534</b>



# 正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般財団法人 くまもとSDGs推進財団			(単位:円)
科目	当年度	前年度(期末)	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
事業収益	5,826,910	9,718,500	△ 3,891,590
受託事業収益	5,797,910	9,509,500	△ 3,711,590
受取謝金	29,000	209,000	△ 180,000
受取補助金等	0	177,000	△ 177,000
受取地方公共団体補助金	0	177,000	△ 177,000
事業費出納手数料	99,000		99,000
受取寄付金	3,514,285	20,314,671	△ 16,800,386
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金振替額	3,514,285	20,314,671	△ 16,800,386
雑収益	42	73	△ 31
受取利息	42	73	△ 31
雑収益	0	0	0
<b>経常収益計</b>	<b>9,440,237</b>	<b>30,210,244</b>	<b>△ 20,770,007</b>
(2) 経常費用			
事業費	6,103,536	28,779,212	△ 22,675,676
旅費交通費	0	124,592	△ 124,592
通信運搬費	0	2,822	△ 2,822
消耗品費	390	35,640	△ 35,250
印刷製本費	0	0	0
賃借料	0	178,300	△ 178,300
諸謝金	70,000	788,016	△ 718,016
租税公課	0	10,000	△ 10,000
支払負担金	0	0	0
支払助成金	4,791,301	17,301,917	△ 12,510,616
委託費	521,445	10,259,700	△ 9,738,255
一般管理費(法人会計へ)	710,170		710,170
雑費	10,230	78,225	△ 67,995
管理費	3,816,816	1,132,301	2,684,515
会議費	0	0	0
旅費交通費	320,100	378,900	△ 58,800
通信運搬費	6,604	23,185	△ 16,581
減価償却費	37,125	3,093	34,032
消耗品費	64,053	262,278	△ 198,225
印刷製本費	0	15,000	△ 15,000
賃借料	0	4,300	△ 4,300
諸謝金	10,000	0	10,000
租税公課	72,000	25,450	46,550
支払負担金	150,752	212,800	△ 62,048
委託費	2,962,090	201,300	2,760,790
雑費	194,092	5,995	188,097
<b>経常費用計</b>	<b>9,920,352</b>	<b>2,991,513</b>	<b>6,928,839</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 480,115	301,824	△ 781,939
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 480,115</b>	<b>301,824</b>	<b>△ 781,939</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	178,016	0	178,016
(2) 経常外費用			
経常外費用計	178,016	0	178,016
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 302,099	301,824	△ 603,923
一般正味財産期首残高	302,099	275	301,824
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>0</b>	<b>302,099</b>	<b>△ 302,099</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取寄付金	654,325	25,364,290	△ 24,709,965
受取寄付金	654,325	25,364,290	△ 24,709,965
一般正味財産への振替額	△ 3,514,285	△ 20,317,764	16,803,479
一般正味財産への振替額	△ 3,514,285	△ 20,317,764	16,803,479
寄付金	△ 3,514,285	△ 20,317,764	16,803,479
当期指定正味財産増減額	△ 2,859,960	5,046,526	△ 7,906,486
指定正味財産期首残高	8,046,526	3,000,000	5,046,526
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>5,186,566</b>	<b>8,046,526</b>	<b>△ 2,859,960</b>
(うち基本財産への充当額)	3,000,000		
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>5,186,566</b>	<b>8,348,625</b>	<b>△ 3,162,059</b>

# 正味財産増減計算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日まで									
一般財団法人 くまもとSDGs推進財団									
科 目	くまもと命を守る基金	熊本災害基金	休眠預金活用事業	講師・アドバイザー事業	熊本県地域課題解決プロジェクト人材活用事業	GOTOセミナー	47コロナ基金	法人会計	合計
(単位：円)									
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
事業収益	96,740	0	0	10,000	0	0	5,000,000	720,170	5,826,910
受託事業収益	96,740	0	0	0	0	0	5,000,000	701,170	5,797,910
受取謝金	0	0	0	10,000	0	0	0	19,000	29,000
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費出納手数料								99,000	99,000
受取寄付金	402,478	114,184	0	0	0	0	0	2,997,623	3,514,285
受取寄付金振替額 (A=-i)	402,478	114,184	0	0	0	0	0	2,997,623	3,514,285
雑収益	2	7	0	0	10	0	0	23	42
受取利息	2	7	0	0	10	0	0	23	42
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計 (a)	499,220	114,191	0	10,000	10	0	5,000,000	3,816,816	9,440,237
(2) 経常費用									
事業費 (b')	499,220	114,191	0	19,000	471,125	0	5,000,000		6,103,536
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	390	0	390
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	30,000	0	0	10,000	0	0	30,000	0	70,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払助成金	370,000	△ 78,699	0	0	0	0	4,500,000	0	4,791,301
委託費	96,800	190,250	0	0	9,900	0	224,495	0	521,445
一般管理費 (法人会計へ)	0	0	0	9,000	461,225	0	239,945	0	710,170
雑費	2,420	2,640	0	0	0	0	5,170	0	10,230
管理費 (b'')	0	0	0	0	0	0	0	3,816,816	3,816,816
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	320,100	320,100
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	6,604	6,604
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	37,125	37,125
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	64,053	64,053
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	72,000	72,000
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	150,752	150,752
委託費	0	0	0	0	0	0	0	2,962,090	2,962,090
雑費	0	0	0	0	0	0	0	194,092	194,092
経常費用計 (b)=(b')+(b'')	499,220	114,191	0	19,000	471,125	0	5,000,000	3,816,816	9,920,352
評価損益等調整前当期経常増減額 (a)-(b)	0	0	0	△ 9,000	△ 471,115	0	0	0	△ 480,115
評価損益等計 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額 (d)=(a)-(b)+(c)	0	0	0	△ 9,000	△ 471,115	0	0	0	△ 480,115
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	178,016	0	0	178,016
(2) 経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額 (e)	0	0	0	0	0	178,016	0	0	178,016
当期一般正味財産増減額 (d)+(e)	0	0	0	△ 9,000	△ 471,115	178,016	0	0	△ 302,099
一般正味財産期首残高 (f)	0	0	0	9,000	471,115	△ 178,016	0	0	302,099
一般正味財産期末残高 (g)=(d)+(e)+(f)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
II 指定正味財産増減の部									
1. 受取寄付金 (h)	428,225	66,000	0	0	0	0	0	160,100	654,325
受取寄付金：使途特定寄付金 (h)	428,225	66,000	0	0	0	0	0	160,100	654,325
2. 一般正味財産への振替額 (i)	△ 402,478	△ 114,184	0	0	0	0	0	△ 2,997,623	△ 3,514,285
一般正味財産への振替額 (i)	△ 402,478	△ 114,184	0	0	0	0	0	△ 2,997,623	△ 3,514,285
寄付金 (i=-A)	△ 402,478	△ 114,184	0	0	0	0	0	△ 2,997,623	△ 3,514,285
当期指定正味財産増減額 (j)=(h)+(i)	25,747	△ 48,184	0	0	0	0	0	△ 2,837,523	△ 2,859,960
指定正味財産期首残高 (k)	4,244	557,824	0	0	0	0	0	7,484,458	8,046,526
指定正味財産期末残高 (l)=(j)+(k)	29,991	509,640	0	0	0	0	0	4,646,935	5,186,566
(うち基本財産への充当額)								3,000,000	3,000,000
III 正味財産期末残高 (g)+(l)	29,991	509,640	0	0	0	0	0	4,646,935	5,186,566
								1,646,935	

## 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針				
(1) 棚卸の評価基準及び評価方法				
最終仕入原価法				
(2) 消費税等の会計処理				
税込方式				
2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高				
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。				
				(単位：円)
科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000
3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳				
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。				
				(単位：円)
科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	0	0
小 計	3,000,000	3,000,000	0	0
合 計	3,000,000	3,000,000	0	0
(記載上の留意事項)				
基金からの充当額がある場合には、財源の内訳として記載するものとする。				
4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高				
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。				
				(単位：円)
科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	
その他固定資産				
什器備品	148,500	40,218	108,282	
小 計	148,500	40,218	108,282	
合 計	148,500	40,218	108,282	

2021年度総勘定元帳(事業別)未払金一覧		一般財団法人くまもとSDGs推進財団																
		(単位:円)																
発生日	支払予定日	目																
		支払先	摘要	旅費交通費	*****	*****	消耗品費	賃借料	謝金	租税公課	支払負担金	委託費	雑費	計				
				管理費														
3	31	4	26	(株)あえる	3月分事務委託												55,000	55,000
	31		27	(株)デッサン	3月分HP管理運営委託												11,000	11,000
	31		28	ライフカード：コングラント	コングラント3月分負担金											1,496		1,496
	31		28	ライフカード：コングラント	消耗品費：ZOOM会議用カメラ											5,873		5,873
	31		5	16 夏月企画(栗谷美奈子)	休眠預金業務委託1-3月分												4,000	4,000
	31		31	(株)あえる	決算報告書作成委託												264,000	264,000
	31		31	熊本県	法人県民税											21,000		21,000
	31		31	各執行役員	旅費(執行役員会)	231,000												231,000
				明石理事・倉田理事	旅費(理事会)	9,900												9,900
				<b>21年度未払金算入額</b>		<b>240,900</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5,873</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>21,000</b>	<b>1,496</b>	<b>334,000</b>	<b>0</b>	<b>603,269</b>		
				<b>くまもと命を守る基金</b>														
3	31	4	26	はちどりphoto(高木あゆみ)	取材委託												33,000	33,000
	31		5	31 夏月企画(栗谷美奈子)	業務委託												55,000	55,000
	31		31	(株)あえる	金銭出納業務委託												2,200	2,200
				<b>21年度未払金算入額</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>90,200</b>	<b>0</b>	<b>90,200</b>		
				<b>21年度未収金合計</b>		<b>240,900</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>5,873</b>	<b>0</b>	<b>21,000</b>	<b>1,496</b>	<b>424,200</b>	<b>0</b>	<b>693,469</b>			

## 第3号議案

### 監査報告書

令和4年5月27日

一般財団法人くまもとSDGs推進財団

理事長 成尾 雅貴 殿

一般財団法人くまもとSDGs推進財団

監事 矢田 智之

監事 福井 雄一郎

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

#### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

#### 2 監査意見

##### (1) 事業報告等の監査結果

ア 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

##### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。 以上

## 第4号議案 2022年度事業計画について

### ◆ 活動方針

まず、緊急支援事業としては、「新型コロナウイルス禍対策くまもと命を守る基金「社会的弱者自立支援」事業」を中心に進めることとする。また、「熊本災害基金」事業については、活動の機会が訪れないことを祈念するが、万が一の場合は過去の経験を活かし速やかな支援に乗り出せるようにしておきたい。

次に、SDGs推進事業としては、熊本市による公募型プロポーサル「熊本連携中枢都市圏SDGsパートナー事業運営等事務委託」について、株式会社談からのオファーを受け、協力団体として参加する。

次に、休眠預金活動事業も本格的に事業をスタートさせる。

この他、レガシーギフト協会加盟団体として、遺贈寄付についての普及啓発に取り組むこととしたい。

なお、管理業務、出納業務、会計業務、ホームページ運営等最小限の支出に務めることとしているものの、現在の予算では、本年度の管理費用を賄うのが精いっぱいであり、依然財務基盤は脆弱である。

このため、20年度から進めている公益法人化についても、手続きを見合わせている。

### ◆ 緊急支援事業

#### 1. 「KSPF 熊本災害基金」事業 常設基金の提案

事業実施責任者：山口久臣 副：徳永伸介

21年度は、幸いにして県内での大きな災害が起こらず、当事業の実施はなかった。ただ、気候危機とも言われる昨今、多種多様な大災害が想定されることから、いつ如何なる時に大災害に見舞われるか予測不能なる状況を想定して、基金の常設を提案する。

⇒【名称案の提案】KSPF 熊本大災害対応常設基金：(略称案) KRファンド

具体的には、財団のHPとリンクし、コングラント等を活用した資金調達を想定。詳細は、今後執行役員会で詰めていくこととする。

#### 2. 新型コロナウイルス禍対策くまもと命を守る基金「社会的弱者自立支援」事業

事業実施責任者： 事業実施担当者：夏月企画(業務委託)

21年度は「47コロナ基金」で当財団独自枠への寄付があり、これに加えて、株式会社タイムレスからの寄付（鶴屋百貨店で春・秋それぞれ1週間店舗開設した際の売上の一部が寄付）で事業を実施した。

22年3月には、株式会社タイムレスが鶴屋百貨店に店舗を常設。今後継続して売り上げの一部を寄付していただくこととなった（年2回に分け寄付の予定）。

このため、これを原資とし、継続事業として実施したい。

## ◆ 休眠預金活用事業

### 1. 九州災害におけるデュアルモードソサエティ構築事業

事業実施責任者：徳永伸介 事業実施担当者：夏月企画（業務委託）

22年度の休眠預金活用事業（単年度事業「コロナ枠」）として、九州各県の7団体とコンソーシアムを組み、NPO法人宮崎文化本舗を幹事団体として、7月に「指定活用団体（JANPIA＝一般財団法人日本民間公益活動連携機構）」に申請を予定している。

JANPIAの審査後に採択されれば、コンソーシアム体制の一団体（構成団体）として、熊本県内の事業実行団体への伴走支援を中心に事業を行う。

#### (1) 22年度に入ってからこれまでの経緯

4月5日、杉本氏と樋口氏と事業実施関係者（成尾、山口、徳永、栗谷）が、当財団事務所にて3者面談を実施、熊本県枠の形に関して協議確認する。

その席で、KVOAD 樋口代表に資金分配団体参加可否を確認、「KVOADとしては中立的立場を維持するため実行団体募集時の情報共有や審査等での協力関与に留める」との発言があり、4月17日火の国会議にて、組織協議結果を事業実施責任者（徳永）が再確認した。

コンソーシアム体制については、その後、九州各県との申請協議を進める中で、幹事団体を宮崎文化本舗が担うこととなり、4月中旬に数回に分けて各県エリア担当者（PO/プログラムオフィサー候補者）にオンライン説明会を実施、事業実施責任者（徳永）が対応した。

#### (2) 事業概要

- ① 公募するテーマ：「防災・災害スキルを身に付け、災害支援団体として機能していくことを目指す」
- ② 対象となる事業実行団体等：平時に公益活動（子ども食堂、福祉施設 etc）をされている団体
- ③ 採択事業実行団体数：各県3団体程度、全体で20団体程度
- ④ 事業実行団体への助成額：平均1,000万円、総額2億円。

- ⑤ コンソーシアム構成団体への受託事業費：各県内での事業広報費用として一律50万円。伴走支援する事業実行団体1団体につき伴走支援費用として50万円。

(3) スケジュール

7月末 JANPIA への配分団体公募締め切り

8月中旬 JANPIA 審査

8月下旬～9月上旬 (審査に通った場合) 契約 (ここから1年間)

9月上旬～ 各構成団体が、実行団体公募

10月上旬 幹事団体(宮崎文化本舗)による実行団体審査会・助成決定

(概ね、11月～8月の10ヵ月程度が助成活動期間になると想定)

※助成決定後から活動期間中が、当財団(構成団体)の伴走支援期間となる

令和5年8月 実行団体の事業終了・幹事団体への事業報告

令和5年9月 幹事団体から JANPIA への事業報告

(4) 各県担当(構成団体)の業務

- ① 広報(公募情報と応募要領の周知・拡散などの広報活動、個別に応募呼びかけ)

※公募説明会は全体で幹事団体が開催予定

※構成団体での個別説明会については今後要協議

- ② 審査補助(熊本県内の応募団体に関する情報収集と提供、審査会への参加など)

- ③ 伴走支援を行うプログラムオフィサー(PO)業務

実行団体決定後は、熊本県内の実行団体に対して、毎月の実施状況の近況確認を行い、課題提出を受けてヒヤリングを行う「伴走支援」が主たる業務となる。

他、イベント時の取材などを事業実施責任者(徳永理事)が担当する。

(5) コンソーシアムの構成

- ① 幹事団体

(NPO)宮崎文化本舗(業務委託先:日本未来創造公益資本財団)

- ② 構成団体

- ・(公財)佐賀未来創造基金

※ 災害がテーマのため「一般社団法人佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)」  
となる可能性あり

- ・(社福)長崎県社会福祉協議会

- ・(一社)SINKa

- ・(一財)ちくご川コミュニティ財団

- ・(公財)おおいた共創基金

- ・(一財)くまもとSDGs推進財団

- ・(特活)フードバンクかごしま



(6) その他：必要となる規程等について

休眠預金配分団体となるためには、予め整えておかなければならない規程（追加策定、改訂）があるが、今回は、宮崎文化本舗がコンソーシアムの幹事団体となることから、構成団体のひとつである当財団については、現時点では整えておかなければならない規程等は要求されない。

しかし、次年度以降単独（もしくは幹事団体）配分団体となることを予定していることから、今年度中に制定しておく必要があると考え、事業実施責任者（徳永）と事業実施担当者（栗谷）及び有志理事でのワーキンググループを立ち上げ、定款・規程の以下を準備中である。第2回通常理事会には提案できるようにしたい。

[新規に必要な規程]

- ① 利益相反に関する規程（KSPF 規程 16）
- ② コンプライアンスに関する規程（KSPF 規程 17）
- ③ 内部通報者保護に関する規程（KSPF 規程 18）
- ④ 情報公開に関する規程（KSPF 規程 19）
- ⑤ リスク管理に関する規程（KSPF 規程 20）
- ⑥ 監事の監査に関する規程（KSPF 規程 21）
- ⑦ 事務局に関する規程（KSPF 規程 22）
- ⑧ 職員給与に関する規程（KSPF 規程 23）
- ⑨ 経理に関する規程（KSPF 規程 24）

[追加記載が必要な規程]

- ⑩ 倫理規程

## ◆ 遺贈寄付事業

### 事業実施責任者：徳永伸介

一般社団法人全国レガシーギフト協会が運営する「いぞう寄付の窓口」に20年度（2020年5月29日）から加盟中（年会費100→50千円）。

熊本で『遺贈寄付』を進めるにあたり、まずは仕組み等を理解し、どのようにして熊本らしく遺贈寄付に取り組む社会を推進していくかを考える必要があり、20年度から全国レガシーギフト協会が企画する会員交流会や遺贈寄付サロン等に参加を重ねている。22年度も継続的に参加しながら以下の「遺贈寄付ウィーク」への参画を中心に熊本県内の認知促進と窓口としての体制構築への賛同者を増やしていきたい。

21年に9月に実施された「遺贈寄付ウィーク 2021」への参画については保留としたが、22年も国際遺贈寄付デー（9月13日）を中心にして、9月13日（火）～9月19日（月）にかけて「遺贈寄付ウィーク 2022」の開催が計画されている。

22年度は、9月17日（土）「オンライン遺贈寄付セミナー（仮称）」をメイン企画として、遺贈寄付の日本国内での認知・理解の向上を目指し、一般の方々への認知拡大にも力を入れた取り組みを予定している。当財団でも本ウィーク期間中に熊本県内の認知度向上を図る企画を検討している。

また、21年度より毎月第4水曜日の12:15～12:45に「遺贈寄付ライブ（Facebook & YouTube ライブの同時配信）」を全国レガシーギフト協会が実施しており、今年度の新たな試みとして、加盟団体から各回2団体が出演し、遺贈寄付の窓口としての活動（登録団体として紹介）と実績の紹介を計画している。当財団も出演し、「遺贈寄付ライブ（遺言にはどんなものがあるか？」での加盟団体紹介「あいちコミュニティ財団」「KSPF」）に出演（2022年11月30日事業実施責任者対応）を予定している。

## ◆ 管理に関すること

### 1. 管理業務を株式会社あえるに委託（660千円）

引き続き、21年度契約に基づき同内容で、委託することとしたい。

### 2. 決算報告書等の作成を税理士等又は株式会社あえるに委託（264千円）

21年度については、会社法人会計ソフト導入を条件に、株式会社あえるに委託することとしていた。が、会社会計ソフトの導入には至っていないにも拘らず、事業規模が大きくなかったことから、同社にはエクセルを使った決算報告書の作成業務を委託し、その提出を得た。22年度については、上記金額を上限とし、税理士等に総勘定元帳作成を含め決算資料作成等の委託先を探すこととするが、これが叶わない場合、21年度と同内容で(株)あえるに委託することとする。

### 3. ホームページの管理運営を株式会社 DESSIN に委託（年間 132 千円）

21年7月から開設している、ホームページについて毎月の管理運営。維持更新を、ホームページを制作した株式会社 DESSIN に委託することとする。（口座引落）

### 4. 関係団体との連携（入会・加盟）等

#### (1) 全国コミュニティ財団協会（準会員）（年会費 30 千円）

2019年から会員として、引き続き連携を図りながらコミュニティ財団としての活動を継続したい。休眠預金関連情報についても随時提供してもらっている。

※正会員(会費50千円)には公益財団化が必要。当会は一般財団のため準会員。

**(2) 一般社団法人全国レガシーギフト協会加盟 (年会費 50 千円)**

2020年に、「いぞう寄付の窓口」を運営している一般社団法人全国レガシーギフト協会に加盟(現在加盟団体は14団体)、今後は加盟団体として、県内の関係者と連携し、遺贈文化を普及と当財団への寄付獲得に向け周知に努めていきたい。

**(3) コングラント株式会社のNPOの寄付募集・支援者管理ツール 年間 52.8 千円**

クレジット寄付等の運営。ライトプランを契約(2021.7~2022.6)。

再契約を行い、当財団ホームページと連携した寄付金受付と寄付者管理システムを構築したい。

**(4) グーグルクラウド 年間 18 千円**

リモートワークや情報共有の為に活用。毎月1,496円(ライフカード引き落とし)

**(5) 「ふるさとくまもと応援寄附金(NPO等支援分)」への登録**

昨年及び一昨年度分合計105,000円の交付予定額の使途について、現在実施している「新型コロナウイルス禍対策くまもと命を守る基金「社会的弱者自立支援」事業」に充てることとしたい。

なお、3年間の登録期間があるものの、実績が伴わないと継続した登録も難しくなることから、県外の知人、親戚等に十分制度を周知して、当財団へのふるさと納税制度を活用した寄付を働きかけていきたい。いただきたい。

**5. 会議等 (いずれも2022年)**

**(1) 理事会・評議員会**

- ・ 6月4日 2022年度第1回通常理事会(財団事務所)
- ・ 6月18日 2022年度定時評議員会(財団事務所)

**(2) 監査**

- ・ 5月27日 2021年度監査実施

**(3) 執行役員会**

- ・ 現在、概ね毎月第1・3水曜日17-19時に開催している。

- ・ このほか、休眠預金と遺贈寄付についてはチャットワークで議論を深めている。

## ◆ SDG s 推進事業

### 1. 熊本市公募型プロポーサル「熊本連携中枢都市圏 SDG s パートナー事業運営等事務委託」 ⇒ 次点落選（6月6日株式会社談から連絡あり）

事業実施責任者：株式会社談 事業実施担当者：神田みゆき他2名

株式会社談から標記事業への共同事業者にならないかとのオファーが4月下旬あり、これを受けることとしたい。

市の実施要項によれば、当事業は「熊本連携中枢都市圏の市町村等と連携して、圏域内の住民・企業等への更なる普及啓発に取り組むとともに、圏域内の「熊本県SDG s 登録制度」の登録企業等（以下、企業等という。）同士や企業等と自治体、自治体同士が交流できるプラットフォームを構築し、地域課題の解決を図ることで、持続可能な社会の実現を目指す」ことを目的とし、業務内容は「熊本連携中枢都市圏の「熊本県SDG s 登録制度」の企業等及び圏域内の自治体による交流を促進するためのプラットフォームの構築・運営と、企業等のSDG s 経営を促進するためのセミナー及び圏域住民への普及啓発イベントを企画・実施する」こととなっている。

5月14日に1回目の打ち合わせ会を実施（同社にて）。山口理事、神田評議員、成尾代表理事出席。

なお、参加資格には「熊本市業務委託契約等に係る競争入札等参加資格審査申請書を提出し、熊本市業務委託契約等に係る競争入札参加者等の資格等に関する要綱（平成20年告示第731号）第5条に規定する入札参加資格者名簿に登録されていること。」とあることから、当財団単独での参加はできない。このため、株式会社談が事業主体となり、当財団は協力団体として必要な人材を提供する事とした。

当財団では、SDG s の推進を財団名に掲げていることから、普及啓発は今年度も何らかの形で実施していきたいと考えていたところであり、当事業を以ってこれに充てることが望ましい。

当事業で構築するプラットホームと当財団ホームページとのリンク等を進めたい。

6月3日市役所にてプレゼンテーション（株式会社談稲崎氏出席、成尾同席）。

# 第5号議案 2022年度収支予算について

## 収支予算案

2022年4月1日から2023年3月31日まで			
一般財団法人 くまもとSDGs推進財団		(単位：円)	
科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
事業収益	2,960,000	5,826,910	△ 2,866,910
受託事業収益	2,960,000	5,797,910	△ 2,837,910
受取謝金	0	29,000	△ 29,000
受取補助金等	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0
事業費出納手数料	22,000	99,000	△ 77,000
受取寄付金	2,445,125	3,514,285	△ 1,069,160
受取寄付金振替額	2,445,125	3,514,285	△ 1,069,160
雑収益	0	42	△ 42
受取利息	0	42	△ 42
雑収益	0	0	0
経常収益計	<b>5,427,125</b>	<b>9,440,237</b>	<b>△ 4,013,112</b>
(2) 経常費用			
事業費	3,795,000	6,103,536	△ 2,308,536
旅費交通費	206,000	0	206,000
通信運搬費	32,000	0	32,000
消耗品費	22,000	390	21,610
印刷製本費	0	0	0
賃借料	0	0	0
諸謝金	140,000	70,000	70,000
租税公課	0	0	0
支払負担金	0	0	0
支払助成金	950,000	4,791,301	△ 3,841,301
委託費	1,630,000	521,445	1,108,555
一般管理費(法人会計へ)	760,000	710,170	49,830
雑費	55,000	10,230	44,770
管理費	1,632,125	3,816,816	△ 2,184,691
会議費	10,000	0	10,000
旅費交通費	300,000	320,100	△ 20,100
通信運搬費	5,000	6,604	△ 1,604
減価償却費	37,125	37,125	0
消耗品費	20,000	64,053	△ 44,053
印刷製本費	0	0	0
賃借料	0	0	0
諸謝金	0	10,000	△ 10,000
租税公課	51,000	72,000	△ 21,000
支払負担金	133,000	150,752	△ 17,752
委託費	1,056,000	2,962,090	△ 1,906,090
雑費	20,000	194,092	△ 174,092
経常費用計	<b>5,427,125</b>	<b>9,920,352</b>	<b>△ 4,493,227</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 480,115	480,115
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	<b>0</b>	<b>△ 480,115</b>	<b>480,115</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 302,099	302,099
一般正味財産期首残高	0	302,099	△ 302,099
一般正味財産期末残高	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取寄付金	1,505,000	654,325	850,675
受取寄付金	1,505,000	654,325	850,675
一般正味財産への振替額	△ 2,445,125	△ 3,514,285	1,069,160
一般正味財産への振替額	△ 2,445,125	△ 3,514,285	1,069,160
寄付金	△ 2,445,125	△ 3,514,285	1,069,160
当期指定正味財産増減額	△ 940,125	△ 2,859,960	1,919,835
指定正味財産期首残高	5,195,036	8,046,526	△ 2,851,490
指定正味財産期末残高	<b>4,254,911</b>	<b>5,186,566</b>	<b>△ 931,655</b>
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>4,254,911</b>	<b>5,186,566</b>	<b>△ 931,655</b>

# 事業別収支予算案

2022年4月1日から2023年3月31日まで

一般財団法人 くまもとSDGs推進財団							(単位:円)	
科目	くまもと命を守る基金	熊本災害基金	休眠預金活用事業	遺贈寄付制度周知事業	法人会計	合計		
<b>I 一般正味財産増減の部</b>								
<b>1. 経常増減の部</b>								
<b>(1) 経常収益</b>								
事業収益	0	0	2,000,000	0	960,000	2,960,000		
受託事業収益	0	0	2,000,000	0	960,000	2,960,000		
受取謝金	0	0	0	0	0	0		
受取補助金等	0	0	0	0	0	0		
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0		
事業費出納手数料					22,000	22,000		
受取寄付金	1,195,000	500,000	0	100,000	650,125	2,445,125		
受取寄付金振替額 (A=-i)	1,195,000	500,000	0	100,000	650,125	2,445,125		
雑収益	0	0	0	0	0	0		
受取利息	0	0	0	0	0	0		
雑収益	0	0	0	0	0	0		
<b>経常収益計(a)</b>	<b>1,195,000</b>	<b>500,000</b>	<b>2,000,000</b>	<b>100,000</b>	<b>1,632,125</b>	<b>5,427,125</b>		
<b>(2) 経常費用</b>								
事業費(b')	1,195,000	500,000	2,000,000	100,000	0	3,795,000		
旅費交通費	20,000	6,000	180,000	0	0	206,000		
通信運搬費	5,000	1,000	25,000	1,000	0	32,000		
消耗品費	5,000	1,000	15,000	1,000	0	22,000		
印刷製本費	0	0	0	0	0	0		
賃借料	0	0	0	0	0	0		
諸謝金	100,000	30,000	0	10,000	0	140,000		
租税公課	0	0	0	0	0	0		
支払負担金	0	0	0	0	0	0		
支払助成金	600,000	350,000	0	0	0	950,000		
委託費	210,000	110,000	1,250,000	60,000	0	1,630,000		
一般管理費(法人会計へ)	240,000	0	500,000	20,000	0	760,000		
雑費	15,000	2,000	30,000	8,000	0	55,000		
管理費(b'')	0	0	0	0	1,632,125	1,632,125		
会議費	0	0	0	0	10,000	10,000		
旅費交通費	0	0	0	0	300,000	300,000		
通信運搬費	0	0	0	0	5,000	5,000		
減価償却費	0	0	0	0	37,125	37,125		
消耗品費	0	0	0	0	20,000	20,000		
印刷製本費	0	0	0	0	0	0		
賃借料	0	0	0	0	0	0		
諸謝金	0	0	0	0	0	0		
租税公課	0	0	0	0	51,000	51,000		
支払負担金	0	0	0	0	133,000	133,000		
委託費	0	0	0	0	1,056,000	1,056,000		
雑費	0	0	0	0	20,000	20,000		
<b>経常費用計(b)=(b')+(b'')</b>	<b>1,195,000</b>	<b>500,000</b>	<b>2,000,000</b>	<b>100,000</b>	<b>1,632,125</b>	<b>5,427,125</b>		
評価損益等調整前当期経常増減額(a)-(b)	0	0	0	0	0	0		
評価損益等計(c)	0	0	0	0	0	0		
<b>当期経常増減額(d)=(a)-(b)+(c)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		
<b>2. 経常外増減の部</b>								
<b>(1) 経常外収益</b>								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		
<b>(2) 経常外費用</b>								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0		
<b>当期経常外増減額(e)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		
<b>当期一般正味財産増減額(d)+(e)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		
一般正味財産期首残高(f)	0	0	0	0	0	0		
一般正味財産期末残高(g)=(d)+(e)+(f)	0	0	0	0	0	0		
<b>II 指定正味財産増減の部</b>								
<b>1. 受取寄付金(h)</b>								
受取寄付金	1,205,000	0	0	100,000	200,000	1,505,000		
受取寄付金:使途特定寄付金(h)	1,205,000	0	0	100,000	200,000	1,505,000		
<b>2. 一般正味財産への振替額(i)</b>								
一般正味財産への振替額(i)	△ 1,195,000	△ 500,000	0	△ 100,000	△ 650,125	△ 2,445,125		
寄付金(i=-A)	△ 1,195,000	△ 500,000	0	△ 100,000	△ 650,125	△ 2,445,125		
<b>当期指定正味財産増減額(j)=(h)+(i)</b>	<b>10,000</b>	<b>△ 500,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 450,125</b>	<b>△ 940,125</b>		
指定正味財産期首残高(k)	29,111	509,640	0	0	4,656,285	5,195,036		
指定正味財産期末残高(l)=(j)+(k)	39,111	9,640	0	0	4,206,160	4,254,911		
(うち基本財産への充当額)					3,000,000	3,000,000		
<b>III 正味財産期末残高(g)+(l)</b>	<b>39,111</b>	<b>9,640</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4,206,160</b>	<b>4,254,911</b>		
					1,206,160			

## そ の 他